

USER MANUAL

Soft Acoustic Guitar

目次

はじめに	1
NOTE MODE	3
バーチャル・キーボード	5
演奏方法	6
CHORD MODE	7
バーチャル・キーボード	9
演奏方法	10
SEQUENCER	11
バーチャル・キーボード	14
演奏方法	15
CALIBRATEタブ	16
FXタブ	19

はじめに

本ライブラリをお楽しみいただければ幸いです。私の目的は、購入後すぐに美しく自然なアコースティック・ギターのサウンドが得られ、使いやすく、かつ奥深い楽器を作成することでした。私は定期的にギター関連のオンライン・コンテンツを公開し、この楽器を深く掘り下げています。私のウェブサイト GuitaristComposer.co.uk または下記ソーシャルリンクを注視ください。

- X (formerly Twitter): [@mikegeorgiades](https://twitter.com/mikegeorgiades)
- Youtube Handle: [@ComposerMG](https://www.youtube.com/@ComposerMG)

本ライブラリをインストールするには、Native Instruments社のKontakt Playerが必要です。こちらからダウンロードできます。

<https://www.native-instruments.com/en/products/komplete/samplers/kontakt-7-player/>

インストール用ソフトウェアおよびKontaktインストゥルメントのインストラクションについては、こちらをご覧ください。

<https://www.native-instruments.com/en/specials/native-access-2/>

動作環境

Mac

- macOS 10.15以上
- 最小: Intel i5 (クアッドコア)、RAM 4GB
- 64bit DAW

Windows

- Windows10
- クアッドコアのCPU、RAM 4GB
- 64bit DAW

- Kontakt 6.71以上
- ダウンロードサイズ 2.1 GB
- インストール時にはインターネット接続を必要とします

⚠️ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

MG Soft Acoustic Guitarは、Martin J40アコースティック・ギターの美しさと温かみをKontakt上で再現し、購入後すぐにリアルタイム演奏による格別なリアリズムを実現します。はじめに、知っておくべき主な必須機能をご紹介します。

ページ・タブ

このインストゥルメントは、UI下部の[PERFORM], [CALIBRATE], [FX]の3つのページ・タブで切り替えます。各タブに詳細な内容と機能があります。

[PERFORM]タブ

このタブには、ギターがリアルタイムで演奏する方法に関連するすべての情報が含まれます。すなわち、その時点での演奏モードです。

ギターの動作に影響を与えるモードは3つあります。

[NOTE MODE]

楽器のホーム画面であり、個々のノートを演奏する場所です。いわば、キーボードからギターに直接音を転送します。このモードでは、多くのアーティキュレーションと機能を利用できます。

[CHORD MODE]

コード／ストロッキング・エンジンで、多くのカスタマイズ・オプションを提供します。

[SEQUENCER]

最大32ステップの4バンク・シーケンサーで、カスタマイズ・オプションが多数用意されています。さらに、MIDIドラッグ&ドロップ機能も利用できます。

NOTE MODE

これは、楽器のUIを最初に開いたときのデフォルトモードです。他のモードと同様に、上半分にはサンプルが録音されたMartin J40ギターが表示され、MIDIキーボードから入力された（または自動演奏化された）ノートがバーチャル・フレットボード上に表示されます。



① MODES (プレイング・モード)

ギターのリアルな演奏を再現するには、[AUTO]が有効です。これは、ユーザーが入力したMIDIデータを処理し、演奏性を損なうことなく、ギターに基づいた一定のルールを使用してリアルな結果を生成します。

[FREE]ではこのルールが無効になり(例えば、同じ弦上で同時に2つの音を鳴らすことはできません)、ギターのリアルな再現を必ずしも重視しない場合に活用できます。

[MANUAL]は、上級ユーザー向けの最も制御性の高いモードで、正確なフレット・ハンドの位置決めと、ギターの一定ルールや制限事項をすべて保つことで、本物に限りなく近い結果が得られます。

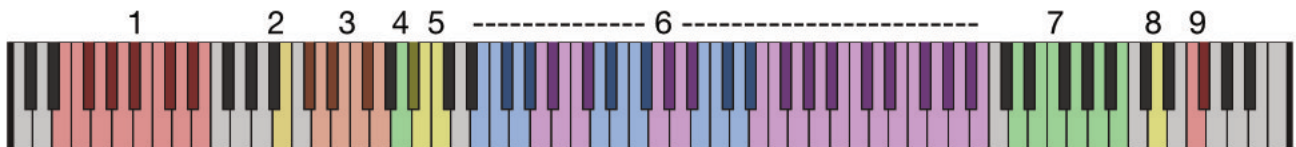
② ARTICULATION (アーティキュレーション・スイッチ)

NORMAL (ノーマル), MUTED (ミュート), HARMONICS (ハーモニクス)の3種を切り替えます。他のアーティキュレーションも利用可能ですが、UIから選択できるのはこの3種類のみです。

③ STRINGS (オープン・コード)

6本のギター弦に素早くアクセスし、オープン・コード(開放弦)またはユーザー定義のコード音のいずれかを設定できます。

バーチャル・キーボード



① フレット・ポジショニング

[MANUAL]モードにおける上級ユーザー向けの機能で、各キーはギターの手元（左手）位置を表します。これにより、正確なノート選択とノートと弦の関連付けが可能になります。

② 弦固定

押さえたままの音は、現在の弦に固定されます（音が弦の音域全体に収まっている場合）。スライド・アーティキュレーションと組み合わせると効果的です。

③ アーティキュレーション

押さえている間、ノートは（左から右へ）通常、ミュート、ハーモニクス、スライド・ダウン、スライド・アップ、スライド、ビブラートとして再生されます。

💡 モジュレーション・ホイール (CC#1) を使用すれば、[NOTE]モードでもビブラートを利用できます。

④ オープン・ストリング (開放弦)

押さえている間、開放弦のノートが鍵盤に緑色で表示され、他のノートを演奏できなくなります。

⑤ スtring/ボディ・ヒット

押さえられているすべての音が止まります。

⑥ プレイアブル・ノート・レンジ (演奏可能域)

青と紫の交互に表示される音域は、6本のギター弦で現在押さえられている音を視覚的に示すガイドとなります。このエリアはギターのチューニングと現在のフレット位置によって変化します。

⑦ オープン・コード指定

黄色の鍵盤は各々6本のギター弦を表し、デフォルトでは開放弦の音を保持、またはユーザー定義のコードを保持します。

⑧ コード選択

ユーザーはトライアド (三重和音) のコードを押さえます。(左から右へ) 最低音から最高音まで、本物さながらのコードとして保存されます。

⑨ ギター・ノイズ

この2つのキーには、フレットを押さえた際の弦のきしみ音、シフト音、スライド音がベロシティごとに多数収録されています。

演奏方法

- コードやアルペジオを演奏する際には、サスティン・ペダルを使用するか、またはサスティンを手動で保持します。本物のギタリストがフレット・ポジション移動時に発する特徴的な間 (ま) を模倣するには、次のコード／アルペジオに切り替わる直前にサスティン・ペダルを一時離すとよいでしょう。
- 音階やメロディを演奏する際には、音と音の間に小さな間隔を空けることも重要です。ただし、音符にスラーが設定されている場合はこの限りではありません。
- スラーを演奏するには、通常通りノートを演奏し、次にそれと重なるように2つ目のノートを演奏します。4半音以内であれば (スラー設定が有効になっている場合)、ハンマリング・オン (上向きスラー) またはプリング・オフ (下向きスラー) が実行されます。

CHORD MODE

このモードでは、コード／ストラミング・エンジンが有効になり、UIではギターのパフォーマンススタイルをカスタマイズするための多くのオプションが提供されます。



① ACTIVE STRINGS (アクティブ弦)

各ギター弦は個別にOn/Off切り替え可能。コード・ストロークが演奏されると、現在アクティブな弦のみが鳴ります。

② OPEN (開放弦)

チェックを入れた弦は、選択中のコードに関係なく、その弦の現在の開放弦の音が鳴ります。

③ コード名表示

指定したコードを表示します。

④ STRUM SPEED (ストラム・スピード)

ストラム (掻き鳴らす) 速度を指定します。このコントロールは、CHORD MODEではモジュレーション・ホイール (CC#1) でアクセスできます。

⑤ HUMANIZE (ヒューマナイズ)

各ストラムにランダムな要素を追加します。値が大きくなるほど、ストラムは徐々に均一でなくなります。

⑥ CHORD RELEASE (コード・リリース)

次のコードの選択時に何が起こるかを指定します。

⑦ SOFT STRUMS (ソフト・ストラム)

低音域、中音域、高音域の弦の範囲にバイアス (偏り) を設定します。

⑧ VOICING (ボイシング)

Autoに設定すると、ピアノのようなコード (同時に最大4音) を弾いたときに、エンジンが本物さながらのギター・コードに変換します。Manualに設定すると、エンジンはユーザーが入力したのと同じボイシングで鳴らします。

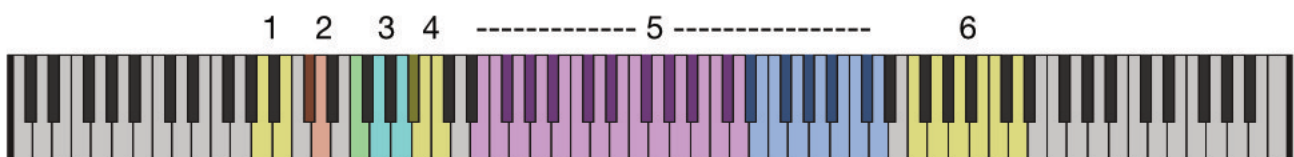
⑨ SHAPE (シェイプ)

Fluidに設定すると、ボイスは流動的に変化します。Fixに設定すると、選択したコードのボイスは固定され、フレットボード上で上下にシフトされるスタイルをシミュレートします。

⑩ SUSTAIN (サスティン)

押さえたコードは自動的にサスティンさせたり、ユーザーがキーを押さえている長さによってサスティンを継続します。

バーチャル・キーボード



① オート／マニュアル

設定をオーバーライドできます。

② アーティキュレーション

他のアーティキュレーションでオーバーライドできます。

③ 開放弦ストラミング

コード変更の合間に鳴る、アップストラムのアルペジオ演奏に適した便利なストラムキーです。

④ ストラム・アップ／ダウン

現在選択中のコードで実行します。

⑤ コード選択

選択中のコードを指定。コードは自動的に、または手動（ユーザー定義）で設定されます。の音域は、ルートを示します。

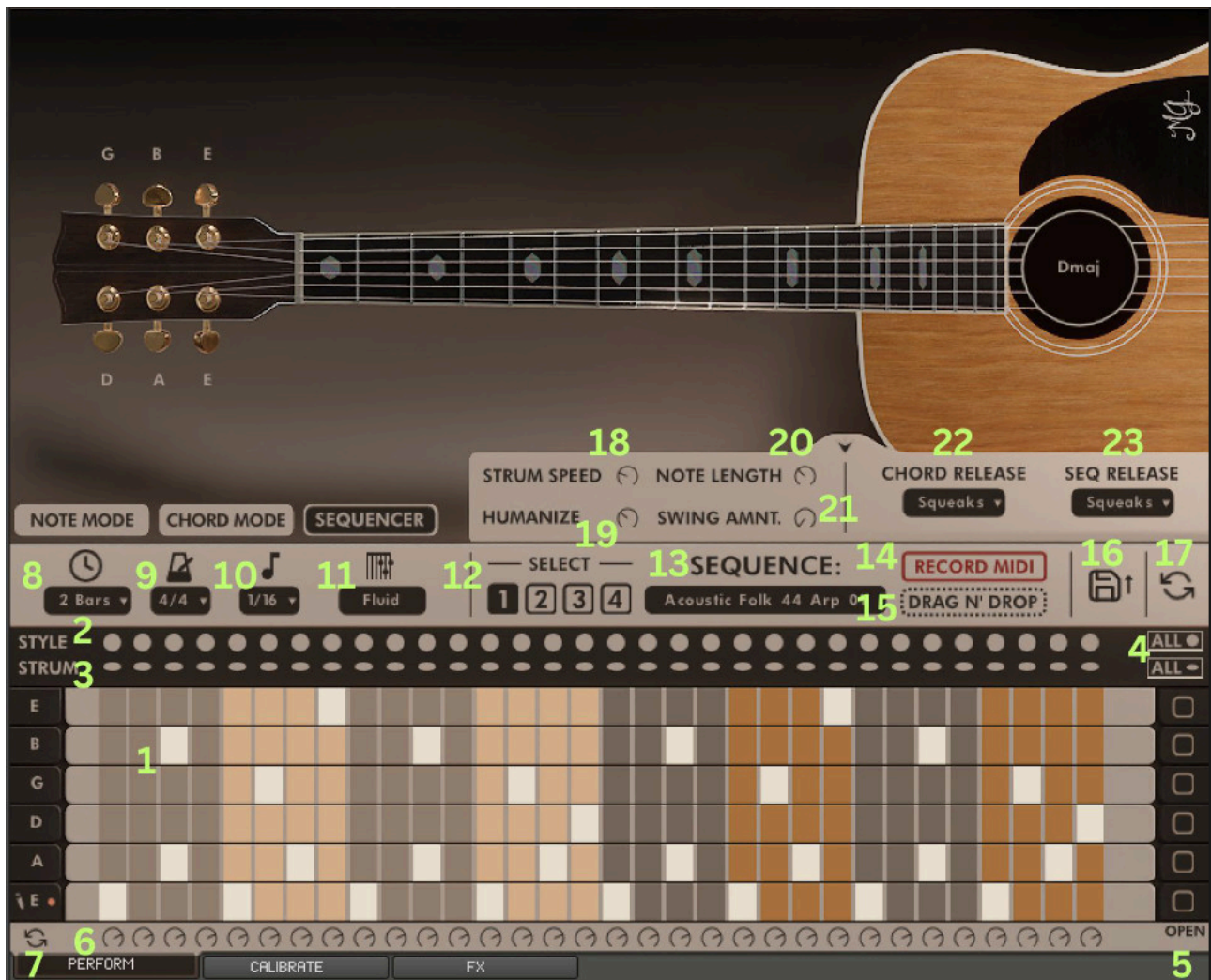
⑥ コード弦

NOTE MODE同様、これらはギターの本の弦を表し、選択中のコードのノートを保持します。

演奏方法

- VOICINGがAutoのとき、キーボードのトライアド（三重和音）のコードを指定し、さらにエクステンション（セブンスなど）など追加の音程を加えられます（転回形不可）。使用可能なコードは、Major, Minor, Maj6, Min6, Maj7, Min7, Min/maj7 (=mmaj7), Sus2, Sus4。その他のコード・タイプを使用する場合は、VOICINGをManualに設定する必要があります。
- コードを変更する際は、新しいコードを弾き始める直前に次のコードを設定し、ギタリストがコードとコードの間に置く特徴的なスペースをシミュレートします（前述）。このスペースを利用するためのオプションは、CHORD RELEASEオプションを使用して設定できます。
- ストラム・キー④と個々の開放弦キー③を組み合わせることで、興の乗った本格的な結果が得られます。

SEQUENCER



ここでは、完全にカスタマイズ可能な4バンク最大32ステップのシーケンサーが搭載されています。ユーザーはプリセット・シーケンスを読み込んで編集したり、ゼロから独自のシーケンスを作成して保存できます。シーケンスの各ステップは、鳴らす弦、アーティキュレーション、ピッキング/ストローク方向、音量などを指定できます。MIDI情報を録音し、DAWにドラッグ&ドロップする便利な追加機能もあります。

① アクティブ・ステップ

各ステップでアクティブなノートは白で着色されます。UIの一番左で鉛筆アイコンを選択して、ノートを編集できます。

② STYLEスイッチ

各スイッチで、そのステップのアーティキュレーションを選択します。

③ STRUMスイッチ

各スイッチで、そのステップのストラム・スタイルを選択します。例えば、あるステップで複数のノートが有効な場合、それらは同時に (picked)、低音から高音へ (上向き矢印)、または高音から低音へ (下向き矢印) の間で切り替えられます。STRUMの速度はSTRUM SPEEDノブ^⑱で調整します。

④ グローバル・スタイル、グローバル・ストラム

選択したアーティキュレーション^②またはストラム・スタイル^③を、まとめて設定します。


⑤ OPEN (開放弦)

チェックを入れた弦は、選択中のコードに関係なく、その弦の現在の開放弦の音が鳴ります。

⑥ ステップ・ボリューム

各ノブで、シーケンス内のベロシティに対する現在のステップのボリュームを設定します。

⑦ ボリューム・リセット

リセット・ボタンを押して、ステップの相対ボリューム^⑥をデフォルトにリセットします。

⑧ 小節数

選択したシーケンスの小節数を設定。

⑨ 拍子

選択したシーケンスの拍子を設定。

⑩ 音符単位

ステップの解像度を設定。

⑪ SHAPE (シェイプ)

Fluidに設定すると、ボイスは流動的に変化します。Fixに設定すると、選択したコードのボイスは固定され、フレットボード上で上下にシフトされるスタイルをシミュレートします。Fix Topに設定すると、高音弦3つが固定され、低音弦3本はコードの種類に応じて変化します。

⑫ SELECT (シーケンス選択)

現在のシーケンスを選択します。

⑬ SEQUENCE (シーケンス表示)

選択中のシーケンスを表示します。

⑭ [RECORD MIDI] (MIDIレコーディング)

ボタンを押すと、演奏されたシーケンスが、指定されたコード・シーケンスとともに、記録されます。


⑮ [DRAG N' DROP] (ドラッグ&ドロップ)

MIDIを録音後、このボタンをクリックしてDAWにドラッグすると、MIDIトラックを作成できます。

⑯ ロード

クリックして、シーケンス・パターンをロード／セーブできます。

⑰ 初期化

リセット・ボタンを押すと、選択中のシーケンスを初期化、シーケンス・パターンをクリアされ、コントロールをデフォルト設定にリセットします。

⑱ STRUM SPEED (ストラム速度)

選択中のシーケンスにおけるストラムの速度を指定します。このコントロールは、SEQUENCERではモジュレーション・ホイール (CC#1) でアクセスできます。

⑲ HUMANIZE (ヒューマナイズ)

選択したシーケンス・パターンにランダムな要素を追加します。

⑳ NOTE LENGTH (音価)

ショート・ノートの音価を設定します。

㉑ SWING AMOUNT (スウィング量)

選択したシーケンスのスウィング量を設定します。

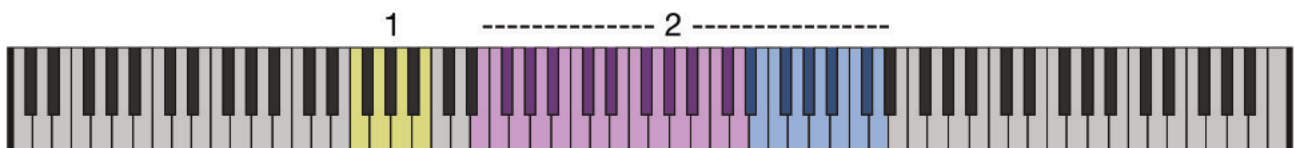
㉒ CHORD RELEASE (コード・リリース)

次のコードの選択時に何が起こるかを定義します。

㉓ SEQ RELEASE (シーケンス・リリース)

シーケンス・キー (次項) がリリースされたときに何が起こるかを定義します。

バーチャル・キーボード

**① シーケンス・キー**

4つのシーケンスのそれぞれトリガー機能を果たします。

② コード選択

選択中のコードを指定。の音域は、ルートを示します。

演奏方法

- シーケンスのベロシティは、シーケンス・キーのキー・プレッシャーによって決まります。
- 4つのシーケンスはどの順番でも演奏できますが、一度に演奏できるのは1つのシーケンスだけです。

CALIBRATEタブ

このタブでは、さまざまな弦のチューニングの選択から、レベル、動作の調整まで、ギターの全体的なセットアップを扱います。



① STRING TUNING (チューニング)

各弦のチューニングを設定できます。

② CAPO PLACEMENT (カポ位置)

クリックしてカポ・ポジションを設定。カポ・ポジションを設定すると、最低弦のカポ・ポジションより低い位置で音を出しても、その音は鳴りません。

③ TUNING PRESETS (チューニング・メニュー)

ポピュラーなギターのチューニングのリストです。

④ OPEN STRING BIAS (開放弦バイアス)

有効にすると、開放弦として演奏された音は自動的に開放弦として演奏されます。開放弦キースイッチを押したまま同じ音程を演奏した場合にはフレット箇所での音が演奏されます。

⑤ DYNAMIC RANGE (ダイナミック・レンジ)

静かな音と大きな音の音量差を圧縮して、音量を押し上げます。スライダーを最大レベルに設定すると、最大限に圧縮されます。

⑥ SLUR SENSITIVITY (スラー感度)

2つの音が重なったときにスラーが発生するスレッシュホールドを設定します。

⑦ VOLUME (ボリューム)

ギター全体の音量を設定。

⑧ WIDTH (ステレオ幅)

ギターのステレオ幅を設定します。

⑨ STRING ATTACK (ストリング・アタック)

ノートのアタック・タイムを設定。ミックスの中でギターを控えめに抑えたり、パッド音色っぽさを演出したりする再にも有効です。

⑩ FRET NOISE (フレット・ノイズ)

フレット・ノイズ (軋み音等) の音量レベルを設定します。

⑪ PEDAL UP (ペダル・アップ)

サスティン・ペダルを離れた時にフレット・ノイズをトリガーします。スイッチをオフにすると、フレット・ノイズをマニュアルで鳴らすことができるようになります。

FXタブ

このエフェクト・セクションでは、5種類のエフェクトを自由に組み合わせられます。エフェクト・モジュールは左から右へ順に実行されます。



① FXモジュール

モジュールをクリックすると、関連するコントロールが下部に表示されます。

② On/Off

電源ボタンをクリックして、①で選択中のFXのOn/Offを切り替えます。

③ CONTROLS (コントロール)

①で選択中のFXモジュールのコントロールを表示します。



Soft Acoustic Guitar 日本語マニュアル

2024 ©Crypton Future Media, Inc.
2024 ©Spitfire Audio Holdings Limited All Rights Reserved.

2024/NOV issue

本書の一部またはすべてを、Spitfire Audio Holdings Limited、またその日本総代理店であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社に無断で複写、複製、転載、翻訳する事を禁じます。内容は予告無しに変更される場合があります。本書に記載されている会社名、商品名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

国内販売元: クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

ホームページ: <https://www.crypton.co.jp/>